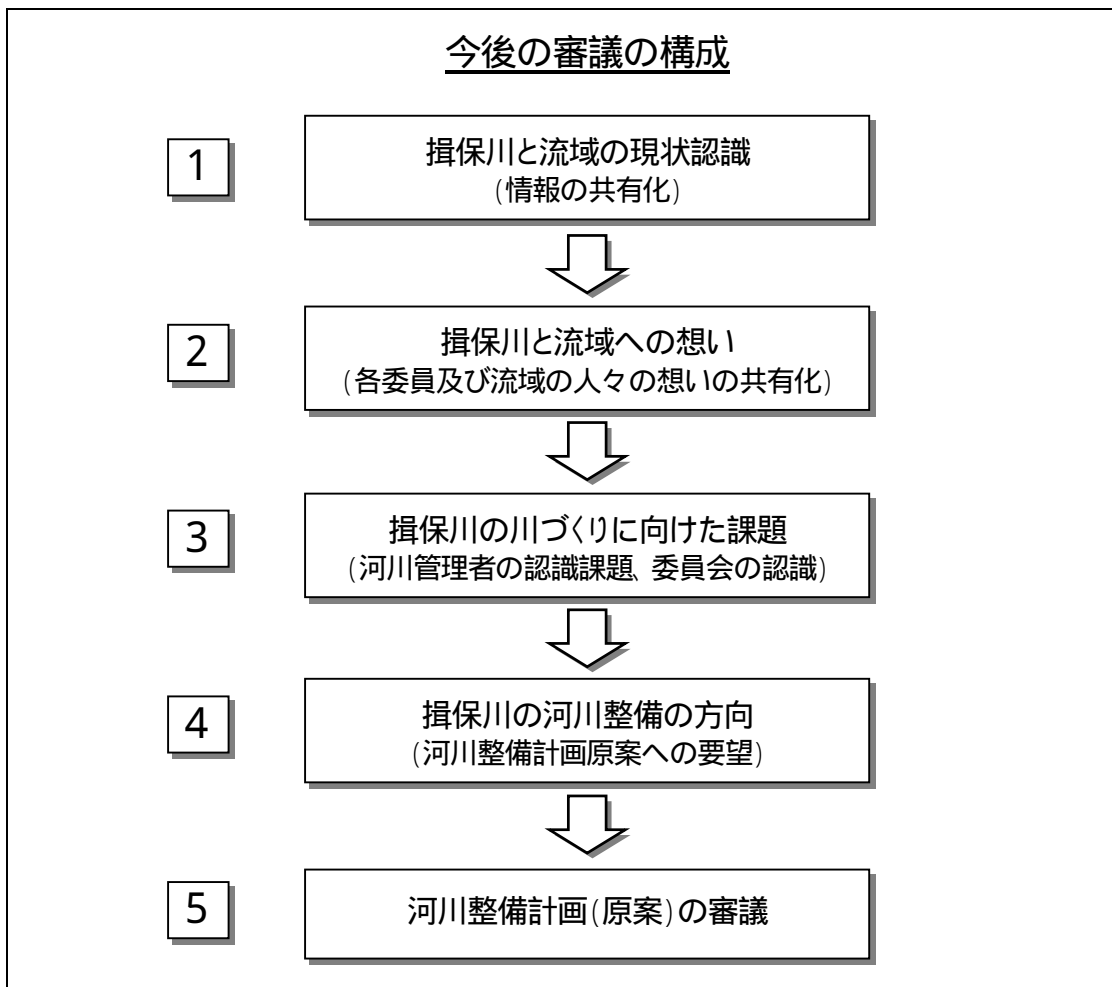


今後の審議の進め方

(1) 委員会審議の構成 (確認)

第1回委員会で合意された揖保川流域委員会の審議の構成は以下のとおりです。



(2) 揖保川河川整備計画策定の当面の目標 (審議)

第4回委員会で **1** の段階が終了し、今後は揖保川河川整備計画の策定に向けて、次のような当面の目標を設定することが必要となります。

審議事項 [1]	当面の目標 (案)
	<p>平成14年度は、上記の 2、3、4 までの検討を進め、2月末に「河川整備計画原案への提言」をまとめ、河川管理者に提出する。 (:河川管理者からの要望による)</p> <p>5 河川整備計画(原案)の審議は、平成15年度初頭から開始する。</p>

(3) 今後の審議の進め方について(審議)

今後の委員会審議の進め方として、以下のような手順による進め方が考えられます。

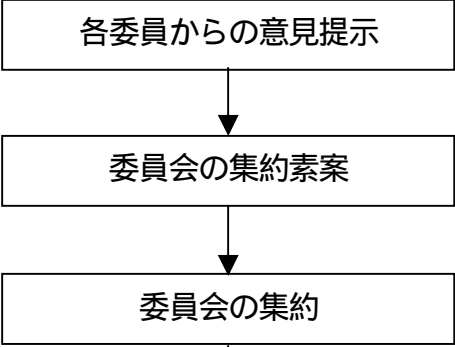
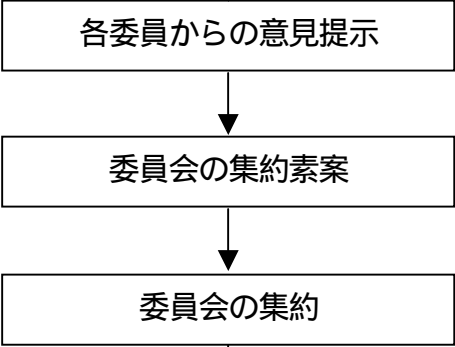
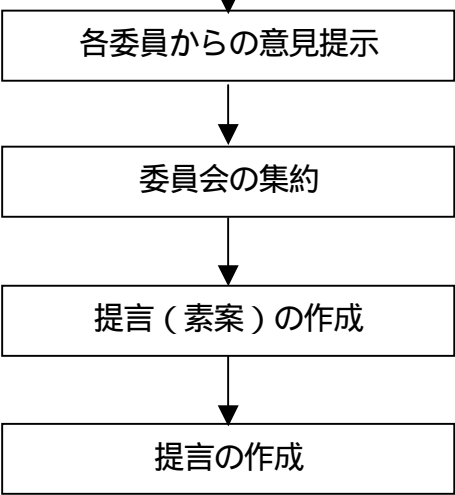
検討段階	審議内容	委員会でまとめる手順
2	揖保川と流域への 想い	 <pre> graph TD A[各委員からの意見提示] --> B[委員会の集約素案] B --> C[委員会の集約] </pre>
3	揖保川の川づくり に向けた課題	 <pre> graph TD A[各委員からの意見提示] --> B[委員会の集約素案] B --> C[委員会の集約] </pre>
4	揖保川の河川 整備の方向	 <pre> graph TD A[各委員からの意見提示] --> B[委員会の集約] B --> C[提言(素案)の作成] C --> D[提言の作成] </pre>

図1 今後の審議の手順(案)

図1に示した「今後の審議の手順」の各段階における、審議とそのまとめとしては、以下のような方法が考えられます。

- 審議・まとめの方法（例）
- ・委員会による審議
 - ・各委員による執筆
 - ・分科会（全委員がいずれかの分科会に参加）による審議
 - ・ワーキング（一部の委員）による審議
 - ・委員長によるまとめ
 - ・その他の方法

今後の審議の過程における、具体的な審議・まとめの方法を決めておく必要があります。

- 審議事項 [2]
- 今後の審議の進め方
- 審議の手順
- 各手順における審議・まとめの方法